

平成28年4月1日
住友生命保険相互会社

平成28年度入社式 社長あいさつ（抜粋）

住友生命保険相互会社（社長 橋本 雅博）は、457名（総合職員121名、一般職員63名、総合営業職員273名）の新入職員を迎え、4月1日に入社式を行いました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

■新しい歴史の扉を開く

当社は今、未来に向けて動き始めた。昨年は、「働けなくなるリスクに備える生活保険」という新発想の保険「1UP」を発売した。画期的な商品であることに加えて、アプローチも奏功し、若い世代を中心に大きな話題となっている。海外事業についても、新契約保険料収入で中国2位となったPICC生命などアジアでの事業展開に加えて、米国生命保険会社のSymetra Financial Corporationを完全子会社化し、さらなる成長を目指す動きが出てきた。

■大切にしたい3つの心構え

まさに今、新たな歴史の扉を開こうとしている当社に入社する皆さんに「住友」の伝統精神に学ぶ3つの心構えを贈りたい。

○ 自らを変えていくことを恐れず、チャレンジし続ける

『相変わりまして』おめでとうございます「古い殻を破って新たに生まれ変わり、禍を転じて福となさねばなりません」という広瀬宰平（住友家初代総理事）の言葉は、変化に挑戦し、逆境を次の飛躍のバネにして発展し続けた住友の精神を教えてくれている。世の中の変化、時代の流れに適応し、「進取不屈」の精神でチャレンジを続けていただきたい。

○ 理想を実現するために、目の前の現実と闘う

「あくまで現実を重んずるも、現実にとらわれず、常に理想を望んで現実に先んずること唯一歩なれ」という伊庭貞剛（住友家第二代総理事）の言葉は、変化に挑戦するときの基本的な価値観を教えてくれている。一步一步目の前の現実と闘い、いつか必ず理想の姿を実現してみせるという志をもった職員を目指していただきたい。

○ 人が人を支える価値を発揮し続ける

住友の先人達が言い続けた「事業は人なり」という言葉のとおり、住友生命の事業の本質は「人」の価値である。当社の事業が時代を超えて発展し続けるために、何よりも「人が人を支える価値」を大切に、磨きをかけていっていただきたい。

皆さんにとって、今日が本当の意味での「始まり」の時。新しい時代の「理想の会社」の実現に向け、心を一つにして、ともに進んでいこう。

以上